

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	岩手南部森林管理署	連絡先	050 — 3160 — 5920
所管する業務の概要	国有林の管理経営、治山事業の実施、民有林との連携及び指導等		

1. 基本的な心構え・行動	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>接遇研修を生かした目標を設定し、実践することによって来庁者や電話での対応にあっても改善が見られている。 また、庁内各担当業務内容について連携を取り、来庁者の訪問内容によっては、担当者1者での対応をすることなく各課横断的な対応を心がけている。 ・ 来庁者に対して、迅速に対応するよう心がけている。 ・ 課内において、担当する業務内容等の綿密な打合せを行っている。人事評価制度によって各人が自身の行動と業務遂行にあたり個々の業務とその責任範囲を見直すきっかけとなっている。 ・ 治山工事の実施にあたり関係機関及び工事関係者との連絡調整を密に行っている。 ・ また、広く治山事業について広報している。</p> <hr/> <p>民・国有林を通じた間伐の推進、生物多様性や里山の保等重要施策について、民有林関係者や地域の活動家、研究者等と積極的に連携し、林野庁施策のPRや先進的な技術の普及に取り組んでいる。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>・ 受付の席を離れているときなど、来庁者を待たせる場合があるので、職員全員で取り組む必要がある。 ・ 係で行う職務を明確にし、業務分担の見直しを行う必要がある。 ・ 関係機関及び工事関係者との連絡調整を密にできており、治山工事及び関係機関の工事との各種調整がスムーズである。 ・ 広報についてはパネル展示を積極的に行い、併せてパンフレットを活用し地域の方や小中学生への普及ができた。職員の会話の中で接遇に関する内容が聞かれるなど、意識の中に定着されてきているが、各課内打ち合わせや定期的な見直しを行いレベルの向上に努めていくこととしたい。</p> <hr/> <p>民有林施策については情報が一方通行であり、地域の要望、疑問等に的確に対応することが未だかなり難しい。</p>

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
<p>・現在行っている取組や工夫</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p>
<p>・物品調達に当たって、必要のない物品を購入しないなど必要最小限となるよう取り組んでいる。 ・経費縮減のため、コピーの両面印刷や昼休み時の消灯に取り組んでいる。</p>	<p>・物品の在庫管理を徹底して行う必要がある。 ・全職員に対して、両面印刷の励行や節減など経費縮減に取り組むよう周知徹底を図る。</p>
<p>・職員から定期的に業務改善の提案及び職場環境の整備について意見を聞き取っている。</p> <p>・業務実行の際には、関係職員間で事前打ち合わせを行った上で実施している。</p> <p>・要領等の職員への周知に当たっては、図表等を活用するなどわかりやすい説明を心がけている。</p>	<p>・より多くの提案や意見が出るよう職場内の環境づくりが必要である。</p> <p>・より一層の情報交換を行うため、打合せを定期的に行いながら業務を遂行する必要がある。</p> <p>・業務の軽減につながるよう、図表等を活用したわかりやすい説明を更に徹底していく必要がある。</p>

3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p>
<p>・業務遂行に当たって、法令等の確認、上局や職員間で報告、連絡、相談を行いながら問題が発生しないよう取り組んでいる。</p> <p>・ヒヤリ・ハット事例を参考にして業務手順等の確認を行っている。</p>	<p>・職員一人一人が法令等の確認を確実に行うとともに、報告、連絡、相談が気軽にできるような職場環境づくりを行う必要がある。</p> <p>・業務見直し等の材料として、ヒヤリ・ハット事例を積極的に活用する。</p>

4. その他の重要な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者だけでなく、職員同士でも明るい挨拶を行うよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の打合せが、真に意見交換の場となるよう取り組む必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・発注する森林整備事業が、事業者により円滑に受注され、所期の品質を確保した成果が得られるよう、発注予定を早めに関示するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注する事業者の力量にもよるが、森林整備は季節に強く制約される事業であるので毎年毎年計画的に無理むらのない予算配置をする必要がある。